

既習事項を整理し確認問題を作成することで、内容の定着を図る学習活動

理科・小学校5年・振り子のきまり

ねらい：振り子が1往復する時間は、おもりの重さなどによっては変わらないが、振り子の長さによって変わること理解する。

期待される効果

- ・児童が実験を通して、学んだことを確認することができる。
- ・個々に確認問題を作成したり、班で分担し、共同編集したりすることができる。
- ・作成した問題を家庭学習につなげる。



使用する機能：付箋機能、テキスト機能、画面共有機能

使用するアプリ：Google Form、Jamboard、スライド、スプレッドシート
Microsoft Forms、Whiteboard 等



学習活動例

	活動内容	活用ポイント／留意点
導入	<p>一斉 前時の確認</p> <p>1 前時までに行った実験を想起する。</p> <p>課題の確認</p> <p>2 課題の確認をする。</p>	<p>・前時までの実験（振り子が1往復する時間を、①糸の長さ、②おもりの重さ、③振幅を変えて実験）の様子や実験結果を大型モニタで提示する。</p>
	<p>『振り子の運動についてのパワーアップ問題（確認問題）を作ってみよう。』</p>	
展開	<p>一斉</p> <p>3 3つの実験結果から、振り子の規則性について確認をする。</p>	<p>・3つの実験結果から考えられることをJamboardに入力し、大型モニタに提示し、振り子の規則性についてのまとめをする。</p>
	<p>グループ 個別</p> <p>4 既習内容を基に、確認問題を作成する。</p>	<p>・問題作成は、班で分担しても、共同編集しても、個々に作成してもよいこととする。また、問題は、Google Form、Jamboard、スライド等、どのアプリを使ってもよいこととする。</p> <p>・作成途中に、互いの問題を見合うことができるようにする。</p> <p>・学習者用デジタル教科書にある問題やWEB上にある問題を参考にしてもよいが、使用する際には著作権に留意する。</p>
終末	<p>5 本時の振り返りを入力する。</p>	<p>・スプレッドシートに、本時の振り返りと、次時の目標を入力する。</p> <p>・もう少し調べたい、作成したいと思っている児童は、次時の目標に、休み時間や家庭で端末を使って調べたり、作成したりする計画を入力する。</p>
本時の振り返り		